

JK A補助事業評価委員会 議事録

【日 時】

令和7年10月14日（火） 11：00～11：30

【場 所】

特別養護老人ホームまほろば 本館1階 理事長室

【出席者】

能瀬英和（理事長兼施設長）、能瀬朋哉（副施設長）、高橋秀樹（統括主任）、
山本康弘（相談員）、後藤麻衣（デイ相談員）

【検討内容】

J K A補助事業についての説明及び事業評価

【決定事項】

事業の実施状況・達成状況を確認し、評価基準により採点を実施した。

【議事録作成者】

高橋秀樹

<自己評価1回目>

※黄色のセルをすべて記入してください。

整理番号

2025P-

286

補助事業者名

(福)大原野福祉会

別紙4 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(a) 個別項目評価

作成日

2025

年

10

月

14

日

作成者

高橋秀樹

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。

(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	1, 車いす仕様リフト式(移送車3)燃料車 2, メーカー名 日産 3, 車名 キヤラバン 4, 排気量 2,500cc 5, 用途 特別養護老人ホームまほろば、まほろばデイサービスセンターで使用する。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	計画の通り、移送車3を導入した。入札から契約、納車までスムーズにいき、予定よりも早く納車に至った。9月4日よりデイサービスでの週6日の送迎に使用している。今後は、施設のドライブ等の行事でも使用していく予定である。			4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	【達成値】 2025年9月	【達成状況】 100%	【具体的内容】 入札から契約、納車までスムーズにいき、入替車両の車検日までに納車することができた。	4
	事業の成果・波及	【達成値】 2025年9月	【達成状況】 100%	【具体的内容】 送迎希望の利用者を1日平均で12名を送迎することが出来ている。稼働時間も想定内に収まっており、安心・安全に送迎を行うことが出来ている。	4
(4) 情報発信	事業の実施結果	【達成値】 1 機関紙 1回 2 HP 1回	【達成状況】 1 100% 2 100%	【具体的内容】 1 令和7年9月発行の広報誌に掲載した。 2 法人のホームページに掲載中	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	【達成値】 1 機関紙 1回 2 HP 1回	【達成状況】 1 100% 2 100%	【具体的内容】 1 広報誌で、競輪の補助金により事業であることを明示した。 2 ホームページにリンクバナーに掲載した。	4
(5) 自己評価の体制	予定通り評価委員会開催し、評価を行った。ホームページに掲載予定。			4	

(b) 総合評価

総合
評価点

4

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。

(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	予定よりも早く、既存車両の車検前に納車でき、経費を削減することができた。ご利用者も新しい車にとても喜んでおり、快適な送迎が出来ている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	以前の車両と比較すると、スライドドアの間口も広く、乗り降りがしやすくなった。また、コーナーセンサーや踏み間違え衝突防止アシスト機能等、安全性能も向上しているので、安心・安全な送迎を行うことが出来ている。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってほしい点	今回の福祉車両の整備により、補助車両の使用を通じて、競輪補助事業のPRと地域貢献、社会福祉の向上に努めていきたい。

【福祉車両・就労支援車両】

別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(5／5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「＊」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的に記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「＊」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な 物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
			(5) 事業運営のノウ ハウ (進捗管理、 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の 変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の 規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外 の団体等の協 力・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出現		
			(15) その他		
＊		(16) 特になし			